



## CFTC 投機ポジション(BITCOIN)

### Bitcoin 先物とレバレッジ・マネーのポジション

米商品先物取引委員会（CFTC）が上場先物全てについて建玉明細（Commitments of Traders）を集計、発表しています。現地時間で毎週火曜日の取引終了後に報告されたポジションを、週末金曜日の取引終了後に発表します。先物のデータと先物およびオプション合計のデータを公表しています。買い・売り・スプレッドの建玉残を投資家種別に公表しています。米国の先物取引所に上場している商品・金利・為替を取引する場合は、ポジションの状況・傾きについて参考になるデータです。

<https://www.cftc.gov/MarketReports/CommitmentsofTraders/HistoricalViewable/index.htm>

添付グラフは CFTC データより、ブライツ・アセット株式会社が作成

期間は、2017 年 12 月 19 日～2019 年 5 月 21 日

Bitcoin 先物のレバレッジ・マネーのポジションと Bitcoin 価格の推移を比較してみました。

最近の Bitcoin 上昇は、ショートカバーであったことがよく分かります。

CBOE は 2019 年 6 月限月のコントラクトをもって、以降の取引を行わないと 3 月発表していましたが、5 月にはほとんど取引が行われず、ポジションの整理が進行していました。

なお、CME では Bitcoin 先物は引き続き取引を続ける方針です。

マーケティング・セールス部

2019/05/28

金融商品取引業者：ブライツ・アセット株式会社  
登録番号：関東財務局長（金商）第 3102 号  
加入協会：一般社団法人第二種金融商品取引業協会  
一般社団法人金融先物取引業協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
HP：www.brightasset.co.jp

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的としてブライツ・アセット株式会社が作成した資料です。投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。投資に関する決定は、お客様ご自身で判断なさるようお願いいたします。

# CFTC 投機ポジション(Bitcoin)

## Bitcoin 先物とレバレッジ・マネーのポジション

投資家種別は、仲介業者（ディーラー・銀行）、機関投資家（年金・保険）、レバレッジ・マネー、その他、未報告の5分類です。2010年7月より詳細な（TFFレポート）公表が始まりました。旧フォーマット（COTレポート）も継続して公表しています。旧フォーマットでの投資家種別は、大口投機(Non-Commercial)、商業(Commercial)、小口商業(Nonreportable)の3分類で、買い・売り・スプレッドの総建玉数を公表しています。以前、市場で注目されていたのは大口投機の買い・売りの差のネットの数字でした。最近では、レバレッジ・マネーの買い・売りの差のネットの数字が市場動向と相関が高いようです。

### ポイント：

トレーダーのポジションの傾き（CFTC ポジション）とオープン・インタレスト（未決済総建玉：買い建て玉+売り建て玉：ロング・ポジション+ショート・ポジション）の間には密接な関係があります。

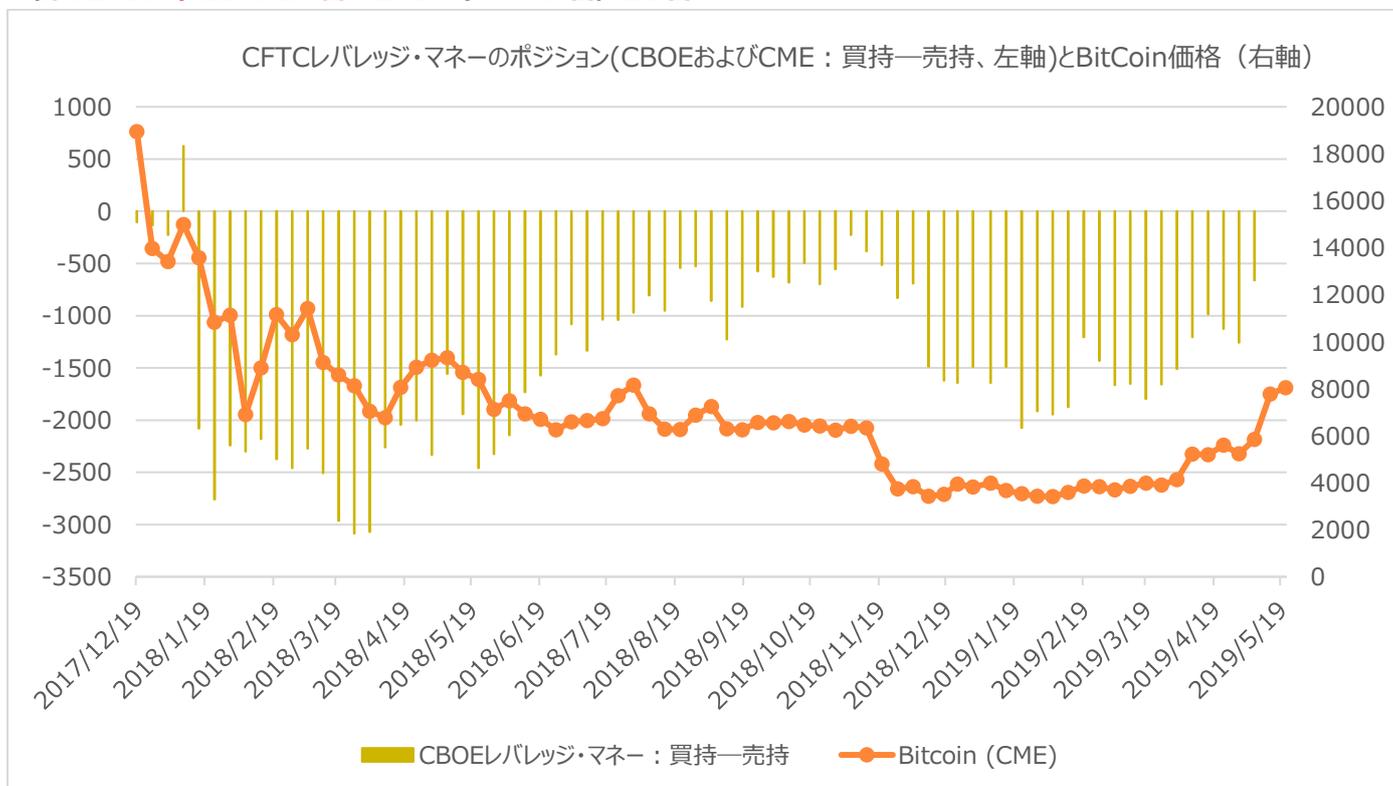
上昇相場では、新規の買い建てポジションの積み上げで上昇したのか、ショートカバー（売り建て玉の買い戻し）で上昇したのか判断できる材料になります。オープン・インタレストが急上昇しているときは、相場の過熱感が見てとれます。オープン・インタレストが上昇相場のなかで、減少に転ずると、上昇相場が終了したのかを判断するヒントになります。

下落相場では、新規の売り建てポジションが増加して下落したのか。買い建て玉の売却で下落したのか、判断できる材料になります。オープン・インタレストは毎日公表されていますので、日々の取引にはオープン・インタレストは非常に参考になります。CFTC 投機ポジションのデータは週1回なので、その都度、オープン・インタレストとの関係を確認しましょう。

## Bitcoin 先物

Bitcoin 価格とレバレッジ・マネーのネット・ポジションを比較してみました。CBOE での取引が始まって、CFTC のポジション報告が始まったところから比較しました。CBOE の CFTC 報告は5月7日で終了しています。

期間：2017年12月19日～2019年5月7日/21日

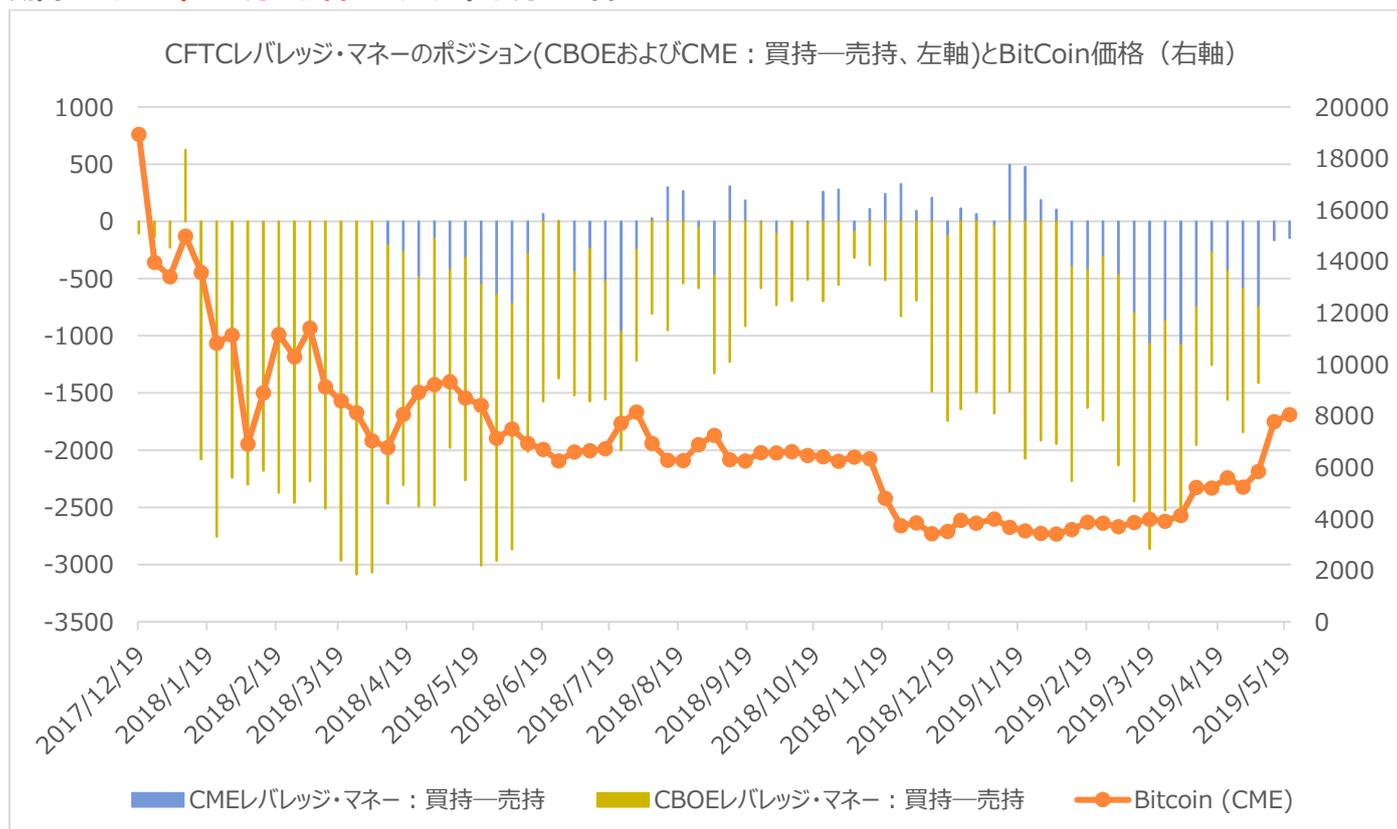


当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的としてブライト・アセット株式会社が作成した資料です。投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。投資に関する決定は、お客様ご自身で判断なさるようお願いいたします。

2017年12月にCBOEでBitcoinの先物取引が始まりました。始まったとたん、レバレッジ・マネーのポジションはショートが多くなり、Bitcoin価格は暴落しました。18年9月から10月にかけて、ポジションが縮小しました。その際Bitcoin価格は小康状態となっていました。18年11月13日以降ショートが積み増され同時にBitcoin価格も再度暴落していました。19年3月以降、レバレッジ・マネーはポジションの縮小を続け最近1ヵ月でポジションは閉じ終わったようです。レバレッジ・マネーのショートカバーが最近のBitcoin価格上昇に大きく寄与していたと思われます。相場の攪乱要因であり、ある意味動意付けにもなっていた先物の上場廃止によって、Bitcoinをめぐる狂騒曲は終わったのかもしれませんが。5月7日を最後に、CBOEのCFTC報告は終了しています。

**BitcoinのCBOE先物とCME先物を合わせたレバレッジ・マネーのポジションとBitcoinの価格推移と比較してみました。**

**期間：2017年12月19日～2019年5月21日**



CMEのBitcoin先物取引は現在でも継続しています。CME先物のネット・ポジションは、ほぼニュートラルのところまで戻っています。

この先、CMEのBitcoin先物のポジションが大きくなっていけば、Bitcoin価格もその方向に動く可能性が高そうです。

逆に言えば、Bitcoin価格は先物の登場で、最高値から暴落が始まり、先物の上場取り消しで、価格が上昇して相場の大きな循環が終わったということでしょう。